

少数台数のリコール届出の公表について (平成29年3月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成29年3月は10件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：McLaren Automotive Asia Pte Ltd

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月1日	外 2452	車名：マクラーレン 型式：ABA-MP4-12C 通称名：マクラーレン MP4-12C	47	平成24年 2月14日～ 平成24年10月22日
不具合の部位等	助手席用のエアバッグのインフレーター（膨張装置）において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切であった場合、高い湿度の環境下で大きな温度変化を繰り返すと、ガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがある。			

2. 届出者：スズキ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月3日	4010	車名：スズキ 型式：DBA-HA36S 他 通称名：アルト 他	69	平成28年 9月1日～ 平成29年 2月16日
不具合の部位等	フロントストラットとナックルを締結するボルトとナットの締め付けが不適切なため、ナットが規定トルクで締め付けられていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ナックルがストラットから外れ、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。			

3. 届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月3日	外 2416	車名：ポルシェ 型式：不明 通称名：918Spyder	28	平成26年 8月26日～ 平成27年 1月27日
不具合の部位等	フロントロアアームにおいて、ボールジョイントのボルト部の防錆設計が不適切なため、使用過程において、当該ボルトが腐食するものがある。そのため、当該ボルトの強度が低下して破損することで、ロアアームとホイールキャリアが分離し、ハンドル操作が正常に行えなくなるおそれがある。			

4. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月3日	外 2451	車名：BMW 型式：LDA-WY20 他 通称名：BMW X3 xDrive 20d 他	7	平成27年 1月 5日～ 平成27年 1月 21日
不具合の部位等	電動パワーステアリングにおいて、制御ユニット内の基板の製造工程が不適切なため、端子部の溶接が確実に行われていないものがある。そのため、端子部の溶接が外れてしまいパワーステアリングのアシストが失われ、最悪の場合、基板内に過大な電流が流れて過熱し、車両火災に至るおそれがある。			

5. 届出者：FCAジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月17日	外 2455	車名：アバルト 型式：ABA-312141 他 通称名：500 他	32	平成28年 2月 13日～ 平成28年 3月 25日
不具合の部位等	前席右側座席において、シートレールの製造が不適切なため、座席の位置調整溝が開いていないものがある。そのため、座席が適切に固定されず、最悪の場合、衝突時に座席が動き、乗員が過度の傷害を負うおそれがある。			

※ 平成29年3月17日公表済み

6. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月22日	外 2459	車名：BMW 型式：EBL-S10CA 他 通称名：BMW S1000RR	3	平成28年 6月 24日～ 平成28年 11月 8日
不具合の部位等	緩衝装置のリレーレバーの取付が不適切なため、取付部の固定ボルト及びナットが規定のトルクで締め付けられていないものがある。そのため、固定ボルトおよびナットが緩み、最悪の場合、固定ボルト及びナットが外れて走行不能となるおそれがある。			

7. 届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月23日	外 2460	車名：ポルシェ 型式：ABA-991H1 他 通称名：911Carrera 他	28	平成28年 9月 28日～ 平成28年 11月 14日
不具合の部位等	助手席フロントエアバッグのインフレーター（膨張装置）において、製造管理が不適切なため、点火剤が設計通り調合されていないものがある。そのため、衝突時に助手席フロントエアバッグが展開せず、乗員が過度の傷害を負うおそれがある。			

8. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月30日	4020	車名：日野 型式：QPG-FW1EXEG 他 通称名：日野プロフィア	60	平成25年12月6日～ 平成26年12月25日
不具合の部位等	大型トラックにおいて、側方照射灯が保安基準第33条の2で定める技術的な要件を満足していない。			

9. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入日
3月30日	外 2466	車名：メルセデス・ベンツ 型式：LDA-166024 通称名：GLE350d 4MATIC	1	平成28年3月22日
不具合の部位等	アッパーコントロールアームとナックルを締結するナットの締付けが不適切なため、ナットが規定トルクで締め付けられていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ナックルがアッパーコントロールアームから外れ、最悪の場合、かじ取り操作ができなくなるおそれがある。			

10. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月31日	4015	車名：コマツ 型式：YDS-GD032 通称名：GD675-6	77	平成27年1月15日～ 平成28年12月7日
不具合の部位等	デファレンシャルオイルの給油管において、走行振動に対する評価が不十分なため、当該給油管を支持するブラケットがタイヤチェーン装着時の走行振動によって折損することがある。そのため、支持ブラケットが折損すると給油管が振れ、そのままの状態で使用を続けると、給油管付け根部に亀裂が生じてオイルが漏れ、警告灯が点灯し、最悪の場合、デファレンシャルギヤが焼き付いて走行不能となるおそれがある。			

【参考】

●平成29年3月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	19 (+5)	16 (+7)	3 (-2)
輸入車	19 (+14)	12 (+8)	7 (+6)
小計	38 (+19)	28 (+15)	10 (+4)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成28年度)

〈速報値〉

月				対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-5)	12(+11)	29(+6)	1,983,793(-29,759)	26,163(+26,065)	2,009,956(-3,694)
5	9(-10)	4(-11)	13(-21)	105,591(-4,258,536)	3,211(-63,982)	108,802(-4,322,518)
6	28(+10)	11(-3)	39(+7)	4,733,139(+4,072,121)	100,979(+79,887)	4,834,118(+4,152,008)
7	23(+3)	14(+2)	37(+5)	960,458(-1,479,908)	23,973(+12,708)	984,431(-1,467,200)
8	15(+13)	3(-2)	18(+11)	149,613(+148,952)	410(-2,164)	150,023(+146,788)
9	16(-8)	12(-5)	28(-13)	1,549,549(+557,928)	126,119(+74,688)	1,675,668(+632,616)
10	15(-3)	14(-3)	29(-6)	1,528,700(-331,484)	222,885(+208,206)	1,751,585(-123,278)
11	29(+5)	21(+10)	50(+15)	924,643(-1,691,050)	44,258(+37,989)	968,901(-1,653,061)
12	18(-6)	6(-5)	24(-11)	123,117(-207,975)	2,342(-3,108)	125,459(-211,083)
1	11(-6)	9(-5)	20(-11)	1,119,326(+1,004,358)	12,633(-96,519)	1,131,959(+907,839)
2	24(-6)	15(+1)	39(-5)	933,259(-519,652)	11,680(-91)	944,939(-519,743)
3	19(+5)	19(+14)	38(+19)	1,070,870(-731,898)	91,690(+50,988)	1,162,560(-680,910)
小計	224(-8)	140(+4)	364(-4)	15,182,058(-3,466,903)	666,343(+324,667)	15,848,401(-3,142,236)